

令和 8 年 3 月 1 6 日

環境総合研究所の 国際関連業務について

令和 7 年度川崎市環境総合研究所所有識者懇談会



● 報告の構成

1 国際関連業務の位置づけと取組について

2 令和7年度の実施結果と令和8年度の予定

(1) 川崎国際エコビジネスフォーラム

(2) 海外からの研修・視察受入

(3) 国際業務に係る情報発信

(4) 国際関連のプロジェクト

ア 海外都市の優良事例の収集・活用に係るプロジェクト

イ 途上国の環境改善の支援に係るプロジェクト

3 今後の環境総合研究所の国際関連業務について



1 国際関連業務の位置づけと取組について

○「環境総合研究所調査・研究等業務計画」

①「地域社会への還元」（基本理念1）

国内外の都市や研究機関等と連携した研究・取組の成果を地域の環境改善に役立てる。

②「国際貢献」（基本理念3）

公害克服の過程で蓄積された環境技術をもとに海外都市（主にアジア等の途上国）の環境改善に取り組む。



①の取組を実施

国内外の都市や研究機関等と連携し、環境分野での優良事例を収集してその成果を本市の関連する環境施策や具体的取組に活かすことで地域の環境改善に役立てる。

②の取組を実施

本市の優れた環境技術等を活用して途上国が抱える様々な環境課題の解決に向けた国際貢献を推進し、市内事業者の海外事業展開に繋げる。 3



2 令和7年度の実施結果と令和8年度の予定

(1) 川崎国際エコビジネスフォーラム

【概要】

市内企業の優れた環境技術や国内外の先進的な環境施策の情報交換の場として、平成17年から開催

【日時】

令和7年11月12日（水）
10：10～12：10

【会場】

カルッツ川崎 1階大会議室
※第18回川崎国際環境技術展と併催



環境総合研究所の国際関連業務について



【今年のテーマ】

都市と産業の共生に向けて
～世界が直面する気候変動にどう立ち向かうか～

【内容】

・ 第一部

「持続可能な未来に向けて」をテーマに
末吉参与と藤田教授が特別講演を行った。

・ 第二部

持続可能な都市づくりには「気候変動に対処すること」と「市民のウェルビーイングを目指す事」の両立が重要であるという認識のもと、**国内外の事例などを共有しながら、その実現に向けた議論を行った。**

◆主催挨拶 川崎市長 福田 紀彦◆

第一部 特別講演
「持続可能な未来に向けて」
末吉 竹二郎氏 (川崎市環境政策推進部長) 藤田 壮氏 (東洋大学大学院工学系研究科 環境工学教授)

第二部 パネルディスカッション
「気候変動に対処して市民のウェルビーイングを実現するには - 日本や海外の事例から考える -」
コーディネーター 吉田 哲郎氏 (公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IPET) 国際交流課長)

パネリスト
フィリップ・マルリロ氏 (オーストラリア国立大学) 田中 隆政氏 (アライズ 環境・エネルギー) マデイス・カワニエ氏 (パリ国立工科大学) ライオン・ハリソン氏 (オーストラリア国立大学) 森 美穂氏 (アジア太平洋経済研究所) エリック・ザスマン氏 (公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IPET) 国際交流課長)

◆後援挨拶 川崎市環境局長◆

第22回川崎国際エコビジネス
フォーラムポスター



【当日の様子】



福島市長による
主催挨拶



末吉参与による
特別講演



藤田教授による
特別講演



パネルディスカッションの様子



会場の様子



中山局長による
閉会挨拶



【実施結果】

- ・ 会場参加者：**58名**
- ・ YouTube閲覧回数：**計145回**（3/6時点）
内訳）日本語 98回、英語 47回
- ・ 海外のパネリストにはオンラインでディスカッションに参加していただくなど、**「気候変動」をテーマに、プロジェクトの内容や成果等について国内外へ発信**することができた。

【令和8年度の予定】

- ・ 令和7年度で「川崎国際エコビジネスフォーラム」としての開催は一区切りとする。
- ・ **海外都市の優良事例の収集・活用に係るプロジェクトの情報発信の一環として、国際会議を開催**し、プロジェクト活動を踏まえて気候変動に係る議論を深めるとともに、本市が気候変動に係る環境課題の解決に率先して取り組んでいくことを示していく。



(2) 海外からの研修・視察受入

- ・ 環境省やJICA等と連携し、主に途上国から研修や視察の受入を実施
⇒ 途上国の自治体職員等の能力向上等に向けた国際貢献



インドネシア国環境省環境管理センター職員の視察（10/29）



【受入一覧】

	行事名/機関名	国/都市	人数
①	中国・日中友好環境保全センター	中国	7
②	インドネシア共和国地方代表議会法律立案委員会	インドネシア	30
③	JICA草の根事業・マレーシア・ペナン州水資源管理プロジェクト	マレーシア	10
④	インドネシア環境管理センター	インドネシア	8
⑤	JICA Bangladesh 国大気管理能力向上プロジェクト	Bangladesh	16
⑥	インドネシア産業省	インドネシア	3
⑦	JICA電気事業経営研修	アジア・アフリカ圏の国々10ヶ国	14
⑧	JICA大気環境管理に向けたキャパシティディベロップメント研修	アジア・アフリカ・ヨーロッパの国々8ヶ国	13

令和7年度は合計8件、101名の受入を実施

【令和8年度の予定】

- ・ 環境省やJICA等と連携しながら、研修・視察の受入を実施



(3) 国際業務に係る情報発信

- 『川崎市環境技術情報』サイトやXを活用した情報発信を実施
- ・サイト：8件、X：10件の記事投稿（3/6時点）



国際フォーラム(ISAP)登壇の記事（7/29）



フォーラム宣伝のポスト（10/17）

【令和8年度の予定】

- ・ 上記サイトやX等を活用した情報発信を実施



(4) 国際関連のプロジェクト

令和7年度実施の国際関連のプロジェクトは **4件**

ア 海外都市の優良事例の収集・活用に係るプロジェクト（2件）

(ア) 気候変動と健康上のコベネフィットプロジェクト
(ウェルカムプロジェクト)

(イ) 国際都市地域間協力事業 2 (IURC 2)

イ 途上国の環境改善の支援に係るプロジェクト（2件）

(ア) インドネシアにおける河川水質改善のための技術協力事業
(チタルム川河川水質改善プロジェクト)

(イ) マレーシア国ペナン州の持続可能な水資源管理に係る都市間連携
プロジェクト【JICA草の根技術協力】



気候変動と健康上のコベネフィットプロジェクト（ウェルカムプロジェクト）

【概要】

●実施体制

資金提供：英国ウェルカム財団

実施機関：IGES

●参加者

【日本側】

自治体：川崎市、八戸市、新潟市
研究機関：北海道大学、九州大学、
アジア大気汚染研究センター等

【海外側】

自治体：オースティン市（米）、
パリ市（仏）
研究機関：テキサス大オースティン校等

IGES

●事業期間

令和5年9月～令和8年12月

●本市の参加目的

気候変動分野の中で主に熱中症の軽減と自然を基盤とした解決策
(Nature based Solution) に係る海外都市の最新の知見を獲得するため



気候変動と健康上のコベネフィットプロジェクト（ウェルカムプロジェクト）

【これまでの経過】

	2023(R5)	2024(R6)	2025(R7)
キックオフ	● 2023年9月		
アメリカ視察		● 2024年8月	
フランス視察		● 2024年10月	
国内三都市合同ワークショップ			● 2025年6月
IGES主催の国際フォーラム（ISAP）			● 2025年7月
テキサス大学関係者来所			● 2025年8月



気候変動と健康上のコベネフィットプロジェクト（ウェルカムプロジェクト）

【令和7年度の活動】

- ・ **国内三都市合同ワークショップ**

日時：令和7年6月25日

場所：アジア大気汚染研究センター（ACAP）

内容：プロジェクトの成果の共有及び
活用法について議論



合同ワークショップ（新潟）

- ・ **IGES主催の国際フォーラム（ISAP2025）**

日時：令和7年7月29日

場所：パシフィコ横浜

内容：ISAPに登壇し、プロジェクトの成果を発信



ISAP2025に登壇



気候変動と健康上のコベネフィットプロジェクト（ウェルカムプロジェクト）

・ テキサス大学関係者来所

日時：令和7年8月12日

場所：環境総合研究所

内容：テキサス大学のデイビッド教授と
情報交換の実施



テキサス大学関係者来所

【令和8年度の予定】

IGESと連携して、気候変動対策と環境・健康・社会的便益との繋がりを可視化する手法であるヒートマップ調査を実施して結果をまとめ、その内容を11月開催予定の国際会議や最終ミーティング等で報告する。



国際都市地域間協力事業 2 (IURC 2)

【概要】

●実施体制

資金提供：欧州連合 (EU)

実施機関：IGES



●事業期間

令和7年9月～令和9年12月

●IURC2の事業目的

欧州と日本を含むアジア・太平洋地域の自治体が、**「持続可能な都市づくり」を促進**することを目指して、都市間で協力して情報共有や取組を行うことを通じ、社会課題の解決策を見出すため

●本市の参加目的

欧州都市から気候変動に係る優良事例や知見を学び、本市の施策や取組に活かしていくため

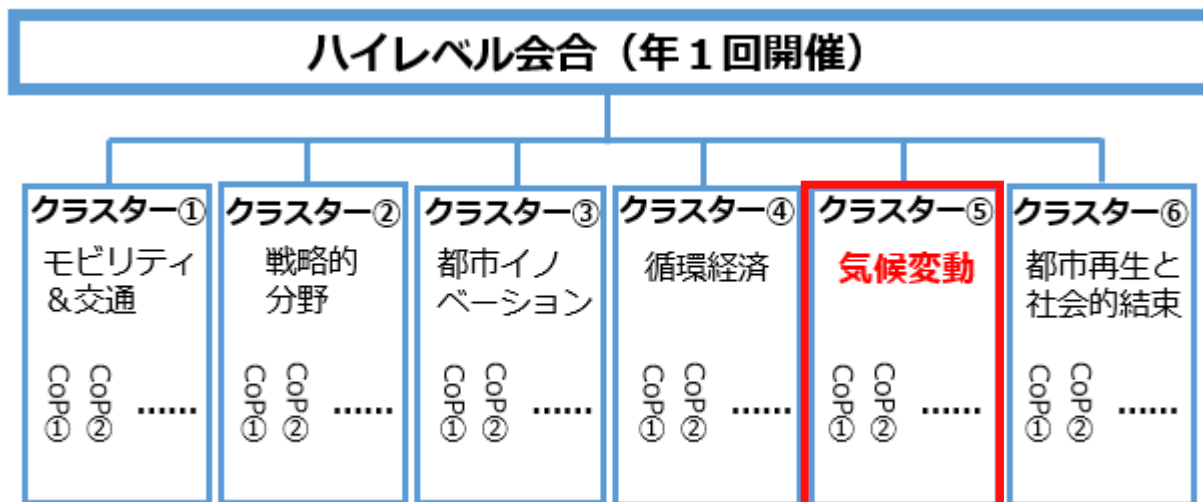


国際都市地域間協力事業 2 (IURC 2)

●活動内容

- 各都市は、関心のある分野のクラスターを選定し、クラスター内で、CoP (Community of Practice) ※に属する。

※CoPは、ある協カテーマについて関心を共有し、活動計画書 (UCAP) を作成した後に情報交換、視察、パイロット活動等を共同で実施する都市のグループ



本市は、目的と合致する**気候変動クラスター**で参加する。



国際都市地域間協力事業 2 (IURC 2)

【これまでの経過】



日本キックオフ会合

● 2025年10月

気候変動クラスター
オンライン会合

● 2025年10月

参加するCoPの選定

● 2025年12月～3月

活動計画書 (UCAP)
確定

● 2026年2月～3月

【令和7年度の活動】

・気候変動クラスターオンライン会合

日時：令和7年10月8日～
(全4回)

場所：オンライン (Zoom)

内容：参加都市の紹介及び課題の発表



オンライン会合参加の様子



国際都市地域間協力事業 2 (IURC 2)

・参加するCoPの選定

日時：令和7年12月5日～

内容：現在、気候変動クラスター内に形成されたCoPへの参加について調整中



CoP打合せの様子

CoP13 都市の気候変動に適応・レジリエンスに向けた自然を活用した解決策

【内容】

- ・都市の気候変動適応に向けたNbSの実装等

【CoPをリードする都市】

クルジュ（ルーマニア）

CoP14 都市気候データ、AI、市民参加によるレジリエンス構築

【内容】

都市気候データの活用、AI活用の洪水・暑熱予測、市民参加

【CoPをリードする都市】

バレンシア州（スペイン）

【令和8年度の予定】

スタディツアー（EUとアジア都市の相互訪問）が実施される予定のため、スタディツアーに向けたの準備や、実際に現地での情報収集及び知見の共有を行い、視察後のまとめ等を実施予定



インドネシアにおける河川水質改善のための技術協力事業 (チタルム川河川水質改善プロジェクト)

【概要】

●連携都市

インドネシア共和国バンドン市

●事業スキーム

環境省 都市間連携事業

●事業期間

平成31年度からの継続事業

●経緯

平成30年に日本の環境省とインドネシア環境林業省がチタルム川の水質改善に係る協力を宣言。同国**バンドン市と環境分野の覚書を締結していた**
本市に環境省から協力依頼があり、平成31年4月から本市も参加



写真：じゃかるた新聞 2016年1月23日ニュース
<https://www.jakartashimbun.com/free/detail/39802.html>

ごみが浮かぶチタルム川



チタルム支流河川の排水
マスタープラン作成 (R3)



インドネシアにおける河川水質改善のための技術協力事業 (チタルム川河川水質改善プロジェクト)

【令和7年度の活動】

チタルム川流域における中小企業の排水処理に関する意識向上に係る ワークショップ

日時：令和8年3月4日（水）11:00~17:30

内容：各主体が次の内容を発表して議論した。

環境省	日本の水環境政策
川崎市	規制行政に係る手続き及び実務
バンドン市	中小企業の排水処理に係る実態把握調査



ワークショップの様子

※環境省からの報告により、**今年度の開催をもって本プロジェクトは終了**



マレーシア国ペナン州の持続可能な水資源管理に係る都市間連携プロジェクト

【概要】

● 連携都市

マレーシア・ペナン州

● 事業スキーム

JICA草の根技術協力事業
(地域活性型)

● 事業期間

令和5年4月～令和7年10月

● 経緯

マレーシア国ペナン州は、慢性的な水不足等による水資源管理体制に課題があり、**川崎国際エコビジネスフォーラム等で関係を構築していた本市に支援の依頼**があった。**ペナン州の水資源管理能力の向上等を目的**に、都市間連携プロジェクトに参画した。

日本側



川崎市



公益財団法人
地球環境センター



京都大学



八千代エンジニア
リング株式会社

マレーシア側



ペナン州政府



ペナン州水道公社



マレーシア国営
下水道・衛生会社



ペナン・グリーン・
カウンシル

環境総合研究所の国際関連業務について



マレーシア国ペナン州の持続可能な水資源管理に係る都市間連携プロジェクト

【これまでの経過】

2023(R5)

2024(R6)

2025(R7)

プレキックオフ	● 2023年5月		
キックオフ会合		● 2024年3月	
第1回研修 (オンライン講義)		● 2024年8月	
プロジェクト参加企業選定 (海外展開セミナー)		● 2024年9月	
第2回研修 (川崎で研修)		● 2024年12月	
ワークショップ in ペナン (ペナンで研修)			● 2025年2月
ペナン研修 (ペナで研修)			● 2025年6月
ラップアップ会議 (川崎で会議)			● 2025年9月
事業完了			● 2025年10月



マレーシア国ペナン州の持続可能な水資源管理に係る都市間連携プロジェクト

【令和7年度の活動】

・ペナン研修（ペナン州で実施）

日時：令和7年6月16日～6月19日

内容：「水資源管理マスタープラン」案の確認
ペナン州と川崎市の今後の連携等の協議



ペナン州インフラ大臣との面会

・ラップアップ会議（川崎市で実施）

日時：令和7年9月25日～26日

内容：「水資源管理マスタープラン」を報告
ペナン州と川崎市の今後の連携等の確認
三田村副市長表敬



三田村副市長表敬

※本プロジェクトは令和7年10月末に終了



3 今後の環境総合研究所の国際関連業務について

(1) 業務の方向性の整理（背景など）

ア 近年、地球環境問題は、**気候変動に代表**されるように深刻化しており、その影響は国境を越えて本市においても市民の安全な暮らし等に直接及んできている。

イ 地球環境問題は、日々新たな課題が現れ、その影響や対応策も絶えず変化しているため、本市としても、**世界の最新の動向を踏まえた新たな視点とアプローチが重要**となってきた。

(2) 今後の方向性

ア **「海外都市の優良事例の収集・活用に係るプロジェクト」を主軸とする**

イ **「気候変動」を重点テーマとする**



(3) 海外都市の優良事例の収集・活用に係るプロジェクトについて

ア 目的・内容

(ア) 「気候変動」の分野で世界の潮流をリードする海外都市（主に欧米の都市）の優良事例や知見等を収集する。

(イ) 活動により得られた内容や成果は、本市の気候変動対策に活用する。

イ 実施体制

